

令和7年度 第3回羽島市生涯学習都市推進会議 次第

日 時 令和8年2月10日(火) 10時～

場 所 羽島市役所3階 301会議室

- 1 会長あいさつ
- 2 意見交換
羽島市生涯学習都市づくり5か年計画(令和2年～7年度)に基づく
令和7年度の進捗状況について
- 3 協議事項
次期「羽島市生涯学習都市づくり5か年計画」(案)について

【配布資料】

- 資料1 現行 羽島市生涯学習都市づくり5か年計画に基づく令和7年度の進捗状況
資料2 現行 羽島市生涯学習都市づくり5か年計画(令和2年～7年度)目標指標
資料3 次期 羽島市生涯学習都市づくり5か年計画(案)(修正版)
資料4 次期 羽島市生涯学習都市づくり5か年計画(案)(概要)
資料5 第2回生涯学習都市推進会議及びパブリックコメントでの意見等に基づく
計画の修正について
資料6 事前質問一覧(当日配布)
席次表(当日配布)

令和7年度羽島市生涯学習都市推進会議委員名簿

(順不同・敬称略)

役職名	氏 名	委 員	備 考
会 長	松 井 聡		市長
委 員	大 橋 好 三	1 号	老人クラブ連合会代表
	小 森 博 昭	1 号	スポーツ推進会議代表
	中 山 ゆりえ	1 号	PTA 連合会代表
	堀 登 司 仁	1 号	社会教育委員代表
	岩 田 睦 巳	2 号	小中学校長会代表
	高 橋 範 行	2 号	高等学校代表
	岩 田 明	3 号	自治委員会代表
	小 林 美 雪	4 号	学識経験者(元小学校長)
	近藤 かよ子	4 号	学識経験者(元教育委員)
	益 川 浩 一	4 号	学識経験者(岐阜大学教授)
	國 枝 篤 志	5 号	副市長
	森 嘉 長	5 号	教育長
	三 輪 弘 司	5 号	健幸福祉部長
	熊 崎 房 子	5 号	健幸福祉部子育て・健幸担当部長
	堀 一 男	5 号	産業振興部長
	小 川 剛 矢	6 号	障がい者支援団体代表
	浅 野 弓 子	6 号	公募委員
	田 谷 由 紀 子	6 号	公募委員

委嘱期間 令和9年3月31日まで

羽島市生涯学習都市づくり5カ年計画 に基づく

令和7年度の進捗状況

計画に位置付ける事業

■ 子育て世代への利用者支援事業

■ 家庭教育学級の実施・充実

令和7年度の取り組み

伴走型相談支援と経済的支援

- こども家庭センター「子育て相談センター 羽っぴい」(画像①)は、母子保健の充実を目指した支援に加え、児童福祉との一体的な相談支援を実施しています。
- 妊娠届出時に妊婦と面談を行うとともに、妊娠8か月頃には体調・心配なこと等についてアンケートを実施しています。また、出生後の訪問や乳幼児健診等を通じて産婦及び乳幼児の健康の保持増進に取り組み、妊娠期からの切れ目のない支援に努めています。支援の必要性が高い家庭に対しては、情報提供を行い、サービスの利用を勧奨しています。
- 伴走型相談支援・経済的支援を一体とすることで、ニーズに即した支援を行っています。

(画像①)

羽っぴいイメージキャラクター



件数(令和7年12月末)	
妊娠届出時の面談	275件
妊娠8か月アンケート	259件

1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

男女共同参画社会の実現

多文化共生社会への理解

教育相談の充実

体験活動の充実

地域活動への参画

令和7年度の取り組み

幅広い世代への男女共同参画の啓発

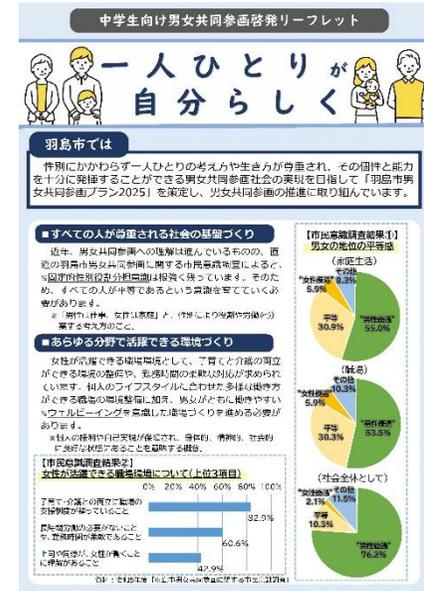
●新たに、家庭向け啓発リーフレット(画像①)を作成し、年長児の家庭向けに配布しました。より多くの人々の理解を促進するため、家族みんなで読めるよう紙面を工夫し、家庭内で男女共同参画について考える機会を提供します。

●中学生向け啓発リーフレット(画像②)を各中学校及び義務教育学校に配布し積極的な活用を促すことで、青年期からの男女共同参画の意識の醸成を図ります。

(画像①)



(画像②)



1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

- 男女共同参画社会の実現
- 多文化共生社会への理解

■ 教育相談の充実

- 体験活動の充実

- 地域活動への参画

令和7年度の取り組み

居場所づくりの強化

- 適応指導教室の名称をこどもサポートルームへ改め、従来からある「のぞみ」、「こだま」に加え、9月から「あさひ」を開室し、誰一人残さず居場所を見つけることができるよう教室の拡充を行いました。不登校および不登校傾向の児童生徒を対象に、個に応じた段階的な相談活動を行い、社会的自立の支援に努めます。(画像①)

- メタバースを取り入れたRoom-HIKARIでは、新たにFAMcampusという教育に特化したソフトを導入し、世界中からアクセス可能だった従来の環境から、登録した児童生徒と教師や関係者のみがオンライン上で交流できる環境へと変更しました。安心安全な居場所づくりを行い、サポート体制の強化に努めます。

利用児童生徒数(体験者含む)
(令和7年12月末)

こだま22人 のぞみ19人 あさひ21人 HIKARI 5人

(画像①)



計画に位置付ける事業

- 男女共同参画社会の実現
- 教育相談の充実
- 地域活動への参画
- 多文化共生社会への理解
- 体験活動の充実**

令和7年度の取り組み

地域と連携した放課後子ども教室の実施

- 放課後に様々な体験や活動を行う 放課後子ども教室 を市内全ての小学校および義務教育学校9校において実施。9校を前期と後期に分けて、それぞれ約11回の日程で活動しました。(画像①・②)
- お囃子や美濃織、雨乞い踊りなどの地域伝統文化の体験、軽スポーツや工作、防災といった多様な活動を行いました。地域の協力を得て新規の講師の拡充に努め、ハンドベルなどの活動を新たに取り入れました。



(画像①)



(画像②)

参加児童
総数

足近小 8人 小熊小 11人 正木小 19人 竹鼻小 12人
中央小 14人 福寿小 13人 堀津小 5人 中島小 14人
桑原学園前期課程 9人

1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

■ 各種講座の開設・支援

■ まちづくり活動への支援

■ 地域人材を活用した学習機会の提供

令和7年度の取り組み

情勢や市民ニーズに呼応した講座実施

● 公的機関から講師を招く 学事始(まなびことはじめ) では、9月に二つの講座を開催。第1回は「お金の整え方」と題し、安心して暮らしていくために必要なお金との向き合い方を学びました。第2回は少年育成支援官でもある現役警察官の講師から、闇バイトの現状と、身を守るために必要な知識を学びました。(画像①) 受講者数・・・第1回 40人 第2回 15人

● 市職員が講師となり市政や身近な問題について話す 出前講座 では新たに羽島市の予算や羽島市第七次総合計画に関するメニューを加え、71テーマを用意しました。地域サロン会や小中学校などでの実施に加え、毎年一部の講座を市公式YouTube に公開しています。

(画像①)

令和7年度中央公民館講座
まなびことはじめ
参加無料
はしま学事始

悪意から身を守るために
~「闇バイト」の現状と対処法~
もしも家族が巻き込まれたら…?
どうやって危険に気づくことができる…?

被害者にも加害者にもならないために
対象 中学生以上 今起こっている問題と対応を考えます

講師 稲佐豊穂本郷生涯安全少年課 子育てサポート総合センター 少年育成支援官(課長補佐) 田中聡 氏

■会場 不二羽島文化センター201会議室 (竹島町丸の内9丁目7番地)
■定員 40名程度(定員に達し次第締切) 社会の現状・課題に悩む若者や公的機関等から 各行分府に問わず講師を招く予定です

■申込 受付期間 7月1日(火)~9月24日(水) 申し込みは 申し込みフォームでお願いします
次いずれかの方法でお申し込みください

●申し込みフォーム ●電話 ●FAX ●窓口 ●メール
(必要事項:住所・氏名・年齢・電話番号・希望する日)
※会場に指定した本人を呼び、お申し込みの受付・参加費のみの申し込みは行いません。
※会場等による講義料の発生する場合があります。

お問い合わせ 羽島市 市民協働部 生涯学習課 (受付時間平日8:45~16:45)
〒501-8292 羽島市竹野町55番地
TEL:058-392-1111 内線6134 FAX:058-394-0025 E-Mail: gokushu@city.hakohimo.jp

計画に位置付ける事業

■ 各種講座の開設・支援

■ まちづくり活動への支援

■ 地域人材を活用した学習機会の提供

令和7年度の取り組み

はしまシティカレッジの実施

● 学習成果や身に付けた技術・知識等を活かし講師となり、地域に学びを広げる場を提供する制度 はしまシティカレッジ を実施しました。

(1) 講師養成講座：講座づくりのノウハウを学ぶ(画像①) → 審査にて認定講師を決定

(2) シティカレッジ講座：認定講師が実施(各講師2回)

(3) フォローアップ講座：(2)の振り返りや今後の地域活動に向けて学ぶ

● 図書館まつりにて、過年度認定講師4人による講座体験ブースを出店しました。

子どもや保護者などが多く来場する中、学びの楽しさを伝えるとともに制度周知

に努めました。 受講者数・・・講師養成講座 10人 シティカレッジ講座 66人 フォローアップ講座 認定講師 3人
図書館まつり38人



(画像①)

計画に位置付ける事業

■ 総合型スポーツクラブ支援事業

■ スポーツ施設の整備

■ 障がい者スポーツ推進

■ 各種スポーツイベントへの支援

■ トップアスリート育成支援事業

令和7年度の取り組み

スポーツに触れ合う機会の提供

- 岐阜県障害者スポーツ協会の協力のもと、12月にパラスポーツ体験会を、開催しました。パラスポーツ体験会では、シッティングバレーやパラフェンシングをはじめ、複数の競技の体験を用意し、パラスポーツへの興味関心の向上を図りました。2月には 第4回羽島市ボッチャ大会 を開催します。幅広い年代に競技への関心や認知を促しつつ、パラスポーツ全体としての普及の推進を図ります。(画像①)

参加者数… パラスポーツ体験会 33人

- 10月に、ねんりんピック岐阜2025ゲートボール交流大会 を開催しました。スポーツを通してあらゆる世代の人たちが楽しみながら交流することのできる機会を創出します。(画像②)

参加者数… 80チーム 449人

(画像①)



(画像②)



1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

■ 市民の文化活動及び交流の促進と環境整備

■ 芸術文化の振興

■ 文化・芸術とふれあう機会の提供

■ 地域の文化財等の保護・継承及び活用

令和7年度の取り組み

文化・芸術にかかる展覧会の実施

- 不二竹鼻町屋ギャラリーでは、所蔵品展や、市ゆかりの作家を紹介する企画展や今年で6回目となる こどもびじゅつかん を開催し、年齢を問わず芸術に親しむ機会を創出しました。(画像①②)

【所蔵品展】 海を渡った作家たち(4/19～6/1) 来館者 406人

かさなる色 かさなる線－版画の美－Ⅱ(1/17～3/8)

【こども向け】 はしま☆こどもびじゅつかん(7/19～8/3) 来館者 336人

【企画展】 市橋安治展－マドリードからの軌跡をたどって(10/1～11/16)

来館者 396人

- 歴史民俗資料館・映画資料館では、常設展に加え、4回の企画展や映画上映会、マイコレクション展を開催しました。 来館者(令和7年12月末) 6,954人

(画像①)



(画像②)



1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

■ 市民の文化活動及び交流の促進と環境整備

■ 芸術文化の振興

■ 文化・芸術とふれあう機会の提供

■ **地域の文化財等の保護・継承及び活用**

令和7年度の取り組み

市の花「美濃菊」の普及と保存の推進・絶滅危惧種イタセンパラの保護

- 11月に美濃菊展を3日間開催し、363鉢の美濃菊を多くの来場者が鑑賞しました。美濃菊展後はJR岐阜羽島駅や駅前フェス、市役所本庁舎でも展示を行い、広くPRを図りました。(画像①)また、市の花として親しまれ、未永く継承されるよう、個人や団体に対する苗の無料配布や、実際の美濃菊を使って栽培方法を学ぶ栽培講習会を2度行い、市民らの美濃菊栽培を支援しました。

美濃菊展来場者数約800人 無料苗配布数 約1,200本(100人、17団体)

- 国土交通省協力のもと、生物多様性や希少生物保護への意識を高めることを目的に 環境学習講座 を開催。講座を希望した学校を対象に、魚類調査や水質調査といった体験学習を取り入れ、木曾川の環境やイタセンパラの生態と保護活動の現状を伝えました。(画像②)

(画像①)



(画像②)



計画に位置付ける事業

- 情報提供の充実と整備
- 各種関係団体との連携
- 専門機関等との連携
- 地域活動への支援
- 等しく安心して学ぶことができるための支援・配慮

令和7年度の取り組み

図書館の利用環境整備

- 図書館内にフリーWi-Fiを整備し、利用者自身でのインターネット検索がしやすくなりました。スマートフォン等を持っていない利用者もインターネット検索ができるよう、「はしま電子図書館」を利用可能なタブレット端末の貸し出しを開始。誰もが情報を受け取りやすい環境整備を行っています。(画像①)

タブレット端末の貸出数(令和7年12月末) 延べ 43人

- マイナンバーカードや交通系ICカードを図書館利用者情報と紐づけ、利用者カードの代わりとして貸出ができるように整えました。
- 利用者登録では、オンラインで自宅から仮登録が行えるようにしました。館内にも登録専用のタブレット端末を用意し、窓口での入力ミスの低減や登録時間の短縮を図ります。



1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

■ 情報提供の充実と整備

■ 各種関係団体との連携

■ 専門機関等との連携

■ 地域活動への支援

■ 等しく安心して学ぶことができるための支援・配慮

令和7年度の取り組み

地域団体との連携による学びの支援

- 放課後子ども教室では、ぎふ地域学校協働活動センターと連携し、学生ボランティアを受け入れ、子どもたちの充実した体験機会の創出を図りました。
- 児童生徒の問題行動や被害を抑制するため、岐阜羽島警察署と、連携・情報交換等を行う「羽島市児童生徒健全育成サポート制度」を締結しています。インターネットの普及等により、児童生徒を取り巻く環境が変化していることから、現状に合わせて内容を改めて再締結し、支援体制の充実に努めます。
- 各種講演会等において手話通訳者を派遣しています。隔たりなく学べる場を整え講演会や行事開催における、情報保障をしています。障がいの有無に関わらず、学び経験する機会の確保に努めます。(画像①)

(画像①)



羽島市生涯学習都市づくり5カ年計画（令和2年～7年度）目標指標

資料2

目標指標名	基準値 (基準時点)	実績値					現状値 令和7年度	目標値 令和7年度	担当課
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
家庭教育学級の参加率	66.60% (平成30年度)	84.92%	83.80%	85.00%	61.30%	57.70%	—	70.00%	学校教育課
コミュニティ・スクールの理解度	30.00% (令和元年度)	55.00%	未実施	58.58%	70.60%	71.20%	—	60.00%	学校教育課
出前講座の実施数	82回 (平成30年度)	0回	11回	51回	72回	72回	47回 R7.12.1時点	93回	生涯学習課
総合型地域スポーツクラブに加入している人数	1,471人 (平成31年3月31日)	1,084人	1,493人	1,552人	1,577人	1,580人	1,621人 R7.12.1時点	1,950人	スポーツ推進課
健康増進等教室参加者数	1,306人 (平成30年度)	242人	212人	533人	1,155人	1,554人	1,029人 R7.12.1時点	1,500人	子育て・健幸課
美術展(一般の部・少年の部)への来場者数	5,613人 (平成30年度)	4,446人	557人	展示なし	5,321人	4,924人	4,667人	6,161人	生涯学習課
美濃菊展出展者数	個人38人 団体25団体 (平成30年度)	美濃菊展 中止	美濃菊展 中止	個人15人 団体14団体	個人20人 団体16団体	個人14人 団体17団体	個人16人 団体17団体	個人41人 団体27団体	農政課
市公式LINE登録者数	— (平成31年4月1日)	5,421人	7,556人	8,616人	9,177人	10,184人	10,507人 R7.12.1時点	3,400人	秘書広報課
市民一人当たりの図書館資料貸出数	3.85冊 (平成30年度)	2.94冊	3.54冊	3.93冊	5.16冊	4.71冊	4.61冊 R7.12.1時点	4.15冊	図書館
市民活動団体登録数	7団体 (平成31年4月1日)	7団体	9団体	12団体	15団体	18団体	18団体 R7.12.1時点	12団体	市民協働課

※実績値(令和2年度から令和6年度)は各年度末時点の数値です。

※現状値(令和7年度)のうち、「R7.12.1時点」と記載のあるものは、令和7年度の実績値ではなく12月1日時点の数値となります。

※「家庭教育学級の参加率」は7年度分の集計前のため、「コミュニティ・スクールの理解度」はアンケート実施前のため「—」と記載しています。

事前質問一覧

資料6

意見交換 羽島市生涯学習都市づくり5カ年計画(令和2年～7年度)に基づく令和7年度の進捗状況について

No.	委員	関連資料	質問・意見	市の意見	担当課
1	大橋委員	資料1(P.5) 分野3 地域における学び 各種講座の開設・支援	<p>高齢者のほとんどが何らかの形で生涯学習に参加したいと考えている。何とかこれらの高齢者を生涯学習に参加を促すことができないか。高齢者及び老人クラブ会員が学びたい学習、要望は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症予防、介護予防等の医師の講演会の開催 ・生活を豊かにする資産管理に関する学習 ・社会参加、地域貢献に関する学習 ・市出前講座の内容充実・見直し 	<p>高齢福祉課では、認知症予防、介護予防等の医師の講演について、シニアカレッジにおいて医師による講義の回を設けている。</p> <p>生涯学習課でも、市民のニーズに合わせた講座や講演会を毎年実施している。今年の「はしま学事始」では、ご要望にある資産管理をテーマに、「人生100年時代『今からできるお金の整え方』」と題して開催し、多くの方にご参加いただいた。出前講座の内容の充実も含め、いただいたご意見を参考に、高齢者の方も興味を持って参加いただける内容を今後も検討していく。</p>	高齢福祉課 生涯学習課
2	大橋委員		再度「高齢者大学」のような高齢者向け生涯学習事業を設置できないか。	現在介護予防事業の一環として教養講座を実施している。講座内容については、興味関心がある内容を検討していく。	高齢福祉課
3	大橋委員		学習会場は、地域コミュニティセンターも講座によっては必要であるが、高齢者の参加が非常に少なく、市全体で実施し、できる限り文化センター会議室を利用できないか。	「はしま学事始」や「生涯学習市民大会」を毎年文化センターで実施している。また、令和7年度に文化センターで実施した「スマホ教室」では、多数のご参加をいただき、そのすべてが60代以上の方であった。地域の実情に即して気軽に足を運べるコミュニティ施設での講座等とあわせて実施することで、より多くの方が自身のニーズに合わせて参加できる場の提供に努めたい。	生涯学習課
4	大橋委員		行政と老人クラブ連合会が連携して、高齢者がより学びの機会を得るようにできないか。	老人クラブ連合会と検討していく。	高齢福祉課

協議 次期「羽島市生涯学習都市づくり5か年計画」(案)について

事前質問なし